

平成 28 年 2 月 1 日

国際協力銀行とメキシコ合衆国アグアスカリエンテス州 及び ハリスコ州との 業務協力のための覚書への参加について

名古屋銀行（頭取 中村 昌弘）は、株式会社国際協力銀行（JBIC）がメキシコ合衆国（以下「メキシコ」）の 2 州と締結した覚書に基づく支援枠組みへの参加をいたしますのでお知らせします。

この覚書は、JBIC が 2015 年 10 月 26 日にメキシコ・アグアスカリエンテス州¹との間で、また 2015 年 11 月 9 日にメキシコ・ハリスコ州²との間でそれぞれ締結したもので、中堅・中小企業のメキシコ進出支援を目的としたものです。

メキシコは約 1 億 2 千万人の人口を有し、現地マーケットの成長性や安価な労働力を背景に日系大手自動車メーカー各社が進出しており、今後、中堅・中小企業を含めた日系企業の進出が拡大していくことが見込まれています。

このたびの覚書への参加により、お客さまのメキシコ進出において、今後両州の日本企業担当窓口（ジャパンデスク）の活用が可能となる予定です。

当行はこれからもお客さまの多様化するニーズに応えるべく、サポート体制を強化して参ります。

以 上

1 メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州

1980 年代に日本の自動車メーカーが進出して以来、中堅・中小企業を含む日本の自動車部品メーカーの進出が相次いでおり、同州向けの外国からの投資件数の約半数が日本企業によるものとなっている。

2 メキシコ合衆国ハリスコ州

ハリスコ州都のグアダハラはメキシコ第 2 の都市で、メキシコのシリコンバレーと呼ばれている。近年では隣接するアグアスカリエンテス州やグアナファト州への自動車関連企業の進出が相次いだことにより、同二州への良好なアクセスが可能な同州への注目が高まっている。